竜丘村公民館報

No. 40

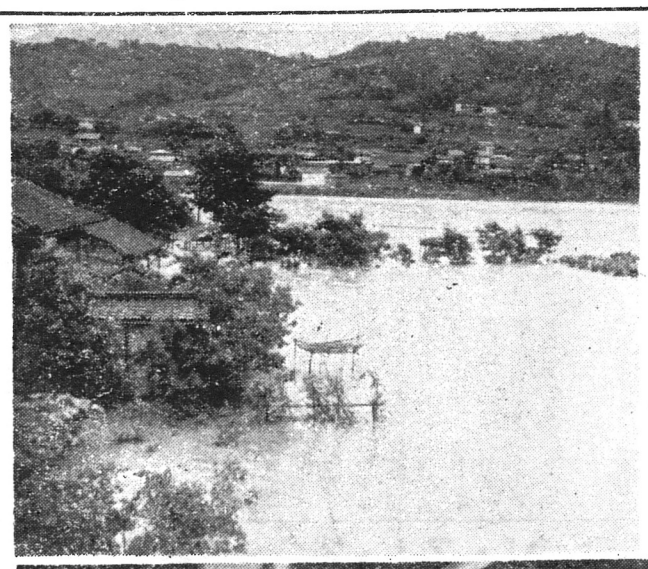
発行人 木下右治
編集人 編集部
印刷所 龍共印刷株式会社
発行所 竜丘村公民館

水、水暴威

本村各所に被害

損害六七八萬圓

七月十七日より二十日までの豪雨は南信を荒しまくつたが、わが竜丘村も多くの被害を受けた。



天龍川の増水は昭和二十年十月の大増水に次いでの大増水であつた。時又は昨年出来た新しい護岸工事によつて救われたが、完成しない天龍橋下から水は将に堤防を乗り越そうとした。消防団は鐘を打つて出動し砂俵の山を築いて漸くその危機を脱した。

村内の諸川道路の被害は多く耕地に浸水した被害も莫大であつた

村内各所の被害を綜合して見積つてみると、

1浸水損害	八〇、〇〇〇円
2作物被害	九五〇、〇〇〇円
3施設復旧費	五七一〇、〇〇〇円
4水防作業費	三五、〇〇〇円
5消毒費	五、〇〇〇円

総計六七八万円が計上されるに至つた。

さきに大被害を受けた九州地方の惨状、この度の和歌山県下の大惨状から見ても自然の暴威を喰いとめる土木施設のいかに大切であるかを知る。わが村に於ても最善の施設をこの面に向けられむ事を望む。

◉写真上は橋爪喜雄氏宅附近の浸水。下は天竜橋下の護岸工事に乗上げた水

村の歴史

中田美穂

（D）饑饉

農作物不作による饑饉は山午旁笹の実、廿菜、嫁菜は勿論、松の皮、台所の古むしろに至る迄食い尽くし行き倒れは至る所にあつた

天明四年の窮状を書いたもの、中から抜いてみると、

三月二日町方より駄科へ米借りに来て、三升から一升位合力した三百三十人来たので、黒米を三合宛差し遣をした。この中には在方の百姓も交つていた。

四月三日、行き倒れ者御検視の御礼に代官所へ罷出たら、松の皮の餅三片を下され、飢かつの者にはその製法を伝授致すよう申し渡された。

三月四日、今日は自分方へ男女二百三十人来たので、黒米を三合宛差し遣をした。この中には在方の百姓も交つていた。

又駄科、桐林両村の惣百姓は、従来の井筋、道路、御蔵番、水番の人足に勤務が過重で堪え得られぬからと申し出て、其の軽減を図り、且その計画勘定には百姓を二人加えて、民主的に運営方法を改正したが其のきまりは永続しなかつたようである。

享保、天明、天保等は全国的の大飢饉であつた。

（E）農民の騒動

人間としての権利を奪われ、悲惨な生活になつても、何一つ不平も意見も言えなかつた農民が、負担の軽減悪政の排除を求めて、きびしい禁令を犯して団結した闘争に百姓一揆があるが、その方法に

1、越訴、村役人を経ずに農民が直接責任者に訴える。

2、逃散、団結して他領主の下へ立退く。

3、強訴、多くの農民が武器を持つて領主、役所へ押寄せる等で江戸時代には千五百回もあつた

商品経済が農村に入りこんで、耕作農民は困窮し、之に反して専ら利益を得た村役人、地主、商人が代官と結托して農民を苦しめた

交通、産業、文教の発達につれて、農民の負担は過重で悲惨となり、殊に中期以降、天和、享保、貞享、天明、天保に起つた饑饉の災地から、木の実草の根は勿論、勝手の塩気の染みた古むしろを細口を目標にして領内へ強制に割当てたが、毎月の事故中には随分困る者も出来、とう〳〵騒動となり飯田以北で四千人、以南で一万五千人が飯田城へ押し寄せた。

（ロ）南山騒動

安政六年十二月、南山のもの三千四百人が市田原町陣屋へ赴く際に当地を通過した。その際飯田藩より沿道の左記村役人に、当時の薪炭、食料、人足等の失費の調査があつた。

村名　庄屋　組頭　長百姓

時又　今村清兵衛　弄右ヱ門　多蔵

長野原　勘兵衛　亀太郎　清次郎

駄科　善次郎　林之助　小左ヱ門

（ハ）紙問屋事件

飯田以南の島田、毛賀、駄科、桐林、久堅、今田の各地では冬仕事に紙漉を副業とした。紙方役人松村四郎治は文化三年十月から一年がかりで、紙の製産高を調査したが、農民は御用紙の供出や、運上（手数料）の徴発を恐れて正直に申告しなかつた。

その翌年毛賀村の新作は、御用人の地位を利用して紙問屋を作り手先の治郎作、清八、駄科の金作等は其の設立を各村に触れて、一両に付銀一匁六分の運上を課し、問屋の証印の無い紙の売買を禁じたので、農民達は「金作、新作、治郎作、三作よつて何と清八」とうたいののしつていたが、良い対策もできず、桐林の市左衛門、島田の庄次郎が仲介に入り、種々取持したが紙漉仲間の悲憤は止まず文化六年十二月数百人の農民が集団して新作、金作、治郎作、清八の宅へ押し掛け家屋、家具一切を打ち毀して夜陰に乗じて逃散した

結局首謀者は江戸や飯田へ入牢され、五人程牢死し、紙問屋は廃止となつた。

（ニ）二分金騒動

明治維新の貨幣改革に依り、新二分金を鋳造流通したが、飯田の奸商は京阪地方よりにせ二分金を移入したので、地方民に通用渋滞して日常生活に困厄を来し、互に窮状を訴えていたが、明治二年七月寺や社の境内や原の場等各村風い〳〵に集合勢揃えをして飯田及び近村の奸商を破壊し、飯田に侵入して民政局へ陳情書を提出した賃金を移入した者は悉く捕縛され入牢した。

農協職務分擔表

（昭和二十八年六月拾五日現在）

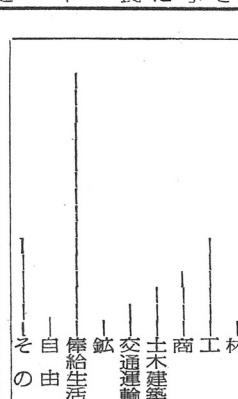
部門	職名	氏名	分担事務
執行部	組合長理事	岡村賢作	専務天竜杜
全	専務理事	塚平睦雄	
全	常務理事	塩沢好吉	
総務部	主任書記	下平安雄	事務全般、金融主任兼務
全	係書記	下平ちづる	会計、預金、主要簿
全	係書記	久保田よねほ	貸付、庶務、主要簿補
金融部	係書記	松原英子	時又支所、貯金全般
全	係書記	林輝子	本所貯金全般
全	係書記	下平明子	全
全	係書記	今村誠司	農産物集荷販売、供繭
販売部	主任書記	吉川敬	農産物集荷販売、主食配給
全	係書記	牧内文恵	農産物並供繭精算
購買部	主任書記	桐生鈴三	生産生活物資の仕入並売却
全	係書記	下平幸恵	購買事務全般
全	係書記	小林もと	商品販売係
全	係書記	塩沢ふさ	商品販売係並に本所利用部事務
利用部	係書記	塚平八千代	時又支所購買全般
全	係書記	下田芳子	時又支所利用部事務全般
全	係	原田計一	時又支所食糧品委託加工
全	係工員	下平秀太郎	本所　全
全	係工員	近藤孝市	本所　全
全	係工員	下平富夫	製綿（古綿打返）委託加工
加工製造部	主任書記	大野実	時又支所事務全般並加工主任
全	主任工員	林喜代美	製麺加工
全	係工員	原今朝夫	全
輸送部	主任運転手	伊藤元	オート三輪車運転
全	農事主任技師	岳野正志	普及技術員、農事生産指導全般
全	畜産主任獣医師	加藤千尋	家畜治療並人工授精
全	係書記	前島清子	農事畜産事務
蚕業部	主任技師	池田清	蚕業指導全般
全	係技師	福与茂男	全
全	係書記	宮井と志子	蚕業部事務全般
全	季節技術員	平栗寛二	蚕業指導
全	全	片桐敦	全
全	全	楯彦雄	全
農業共済組合	主任技師	田中吉秋	農産物並に家畜、家屋共済
全	係技師	多田利寿	全
雑役	使丁	長江宗一	
全	牧事婦	土屋さく	

二、三男坊はどこへ行く

現在本村に居住する三男坊一四八名に就て動態を調査したところ三三男坊の意向が明らかになつた。この一四八名の現在の職業を類別してみると、

自宅農業手伝	三三名	農業	二八名
農業日雇	二名	林業	一名
工業	一四名	工業	一二名
商業	九名	商業	九名
土木建築業	一五名	土木建築業	七名
交通運輸業	六名	交通運輸業	五名
俸給生活者	三〇名	鉱業	一名
自由業	二名	俸給生活者	三一名
無定職	九名	自由業	三名
其他	二八名	その他	一一名

そこで独立後の希望職業をきいてみると、



この表でみると俸給生活希望者が最高で三十二パーセントを示し次が農業希望者で十二パーセントを示している。

次に農業を希望している二十八名の意向をきいてみると、分家して独立したいという者七名、養子に行きたいというもの二十名、南米へ移民したいというもの一名である。農家へ養子に行きたいという者の多いのに驚く次第である。

「こぬか三合あれば養子に行くな」と昔から言われた養子希望者がこんなに多いという事は何を示すものか。就職の隘路に追い込まれた三三男坊の哀れな心情を見てよいか。大きな社会問題であり、政治問題につながる大きな課題である。

中共を聞く座談会

七月二十日夜役場の二階にて中共を語る座談会を開いた。天竜川大増水の夜のことであつたが数十名が集つて盛会であつた。十一時になつたので時間のすくないのを惜しみつつ閉会した。引揚者で御出席を願つたのは喬木村の原政逸氏、本村出身者の上松金秋氏、今村松枝さん、小島軍子さん（矣君市田村の小島氏も臨席）であつた。（上松久子さんは平谷村診療所に勤務されているので欠席である）　以下五氏談

引揚げについては政府の力でなく、国民外交に依つてあこがれの帰郷ができたと信じている。

中国人は日本人を、祖国をあらし肉親を殺しにくいけれどもそれは全日本人ではなくそれは一部の侵略者によつてなされた事で、真の日本人の姿は中国と兄弟であるのだから、お互いに手を取り合つてアジア人の幸福の為に発展させるべきだ。

国府軍時代は民族的差別はあつたが今は全然差別なく日本人も同じ様あつかわれている。

中国の新生に当つては工業の振興が最も叫ばれ、先輩としての友情によるソ連の指導を得て電化、機械化が発展して来た。

将来については日中貿易を盛んにし、お互いに平和な幸福な生活を保つて行きたい。又その事柄を通じてソ連化される事になつても何等恐れることはない。

以上は五氏談の簡略せるものである。

座談會の感想

座談会に出席した数氏からその感想をきいてみると、

A氏（青年）

◇長年体験して来た引揚者から、現地の実状をなまの声で聞く事が出来たのはよかつた。

◇わが国が軍事基地化の問題などで騒いでいる間に隣国はすばらしい発展をするであろう。

B氏（壮年）

◇良いとか悪いとかは別として半ば信仰的に物を感ずる教育（或は宣伝）の偉大さを知る。

◇帰還者のテキパキとしたものの発表出来る態度を面憎く思つた

◇「故郷」と聞いただけでもそつとする魅力のふるさと、よければよくて又悪ければひとしお恋しいふるさとを想い返してみた

今日帰つたモンテンルバの人達の心境もそうであろうが、中国から帰つた方々も日本より中国の方がよいと云いつゝ、一度ふるさとの土を踏んだ魅力で割り切れない味、そこで故郷を本当に良くなごやかな地にしなくてはならないのだ。

C氏（壮年）

◇教育機関が発達して、五十才六十才の男女が業余学校に於て自発的に学び、文盲者がなくなつたというのには驚いた。唯その課目がマルキシズムに限るのは賛成出来ない。私達も成人学級を旺んにして戴き、広い視野を養い、本質的なものの考え方が出来るような勉学が仕事の余暇に出来るようになれば農村も近代化する事が出来ると思う。

D氏（壮年）

◇戦争中に実際に中国を見て、中国はいかにしたら救われるかと思つていた者にとつてめざましく発展しつゝある中国の実態を聞いて喜びを感じた。然し共産党の宣伝のような気もした。

E氏（婦人）

◇帰還者五人が五人とも中共教育を目で見、耳で聞きそれを体験して、それが生命にまでなつているのではないかと感じました

◇長く内地に居ればあの人達の気持も又内地に和して行くのではないでしようか。それは内地の人の受け入れ方いかんにあると思います。（裏面七段へ続く）

私の言

S太郎は政党色のない男だがしかし日本の将来又日本が良くなる事ならば其の労を惜しまぬ男だ。世界状勢のはげしい現在、伴みよい明るい日本にする為に政局担当者並に国民各位に熱望する。

朝鮮休戦成立の為我国は輸出振興によつて国際収支の均衡を計ろうとして居るが、これには割高な国内物価の水準を引下げる事が絶対の前提条件とならざるを得ないしかるに政府の施策を見るとき何ら一貫した物価政策なく、多くを期待することが出来ない現状である。経済不安はいよ〜濃厚となつて来た。朝鮮の休戦が成立すると下落するものと見られて居た物価は捕虜交換協定調印という最大な山を通過すると共に反対に持直し、それが李大統領の反共捕虜釈放と共に物価高に一層の拍車をかける不思議な動きを示している。これについて一万田日銀総裁は、「下期の日本経済は国際経済のデフレ現象のあおりを受け割高物価の表面化による輸出不振から深刻な不景気に当面しよう」と警告して居る。

政府は国会に於ける施政演説に於いても大いに輸出振興を説いて居る。朝鮮事情の変化によつて特需がなくなると当然平常貿易によつて活路を拓く以外に道はない事は納得出来る事だが、其れには国際価格を無視して貿易の増大を望む事は出来ず、問題は此の物価政策に果して対策があるかどうかという事である。

国会で審議中の予算案をみてもこれはインフレ原因を含んだ物価高予算という印象が強い。其の上電信電話料の値上、麦価の引上げに次いでやがて電気水道料金の引上げも必至といわれる。こうした世界物価に逆行する物価高の要因を除去せず正常貿易の再開などは痴人の夢に等しいと言わねばならぬ。政府及び政党が真に貿易の正常化を計り、日本経済の転換改善を意図せんとするならば先ず物価政策を検討する所に其の基点をおかねばならぬ。この線から速かに出直す事を要望する。愈々MSA協定の申込日取も決定の運びとなつた今日、我々は予備隊の増強等による税のより以上加重になることを覚悟致さねばならぬ。

我々東洋人は速に中共と握携して総ての点に協力し合い彼我の長所の融合に由つて黄色人種の楽土を建設せんと夢みるものである。我同胞諸氏よ其の意のある処を汲んで眼を世界に転じ、大きな基盤の上に楽しい平和な日本を建設しようではないか。

わたしたちの手で 民主的な検察を

犯罪（人権侵害）→告訴→不起訴
→検察審査會へ

検察審査会とは

国家の主権はわたくしたち国民がもつており、公務員は国民からまかされてみんなの国のしごとをしているのです。ですから、公務員のしごとのやり方は常に国民の監視をうけていなければなりません。そして検察官のしごとのやりかたを国民が監視する制度が検察審査会です。

検察審査会のしごと

検察審査会は、簡単にいえば検察事務を監視する役目であります。窃盗とか、詐欺とか、暴行、そのほかいろ〜な犯罪によつて害を受けた人で、警察、検察庁に犯罪事件の告訴、告発をしたのに検察官がその事件を起訴しない、どうも納得がゆかない、とお考えの方がないでしょうか？もしありましたらすぐ検察審査会に申し出て下さい。検察審査会はこのような申立にもとづいて、又は自分から進んでその事件の真相を充分調査し検察官が起訴しなかつた事が果して正しいかどうかを判断し、場合によつてはその事件を裁判にかけるよう、その検察官の監督者である検事正に対して意見を述べます。

又検察審査会はこのほかに、検察庁のしごとのやりかたを全体にわたつて改善すべき点があれば、検事正に勧告することができます。

検察審査員はどうして選ばれるか

検察審査会は十一人の検察審査員からなり立つておりますが、検察審査員は、衆議院議員の選挙権を有する人々のうちから「くじ」で選ばれます。男女を問いませんそしてその任期は六ケ月です。

検察審査会はどこにあるか

検察審査会は各地方裁判所支部の所在地に設けられ、現在全国を通じ二〇三あります。各検察審査会には事務局がおかれ、それは大体各地の裁判所の中にあり事件の申立の受付などのしごとをしています。

結び

以上によつてお判りのように検察審査会は「検察の民主化」という大切な使命を預ることになりました。その成果の如何は私達国民一人一人の努力によつて開拓する場面もあるし、人間の努力によつて生活が出来るということになる。

鋭敏なもの俊秀が必ず成功するとはきまらない。頭のよい者は応々にして「知」が先行して徳が之に伴わず、社会に入れられない場合が応々見うけられる。

ところが鈍物であつても、誠意があつて、こつ〜と努力する事によつて社会から信用され成功する場合が多い。学校時代の俊才が社会へ出て案外伸びずに「あんな人が」と思われる人が社会にて意外に伸びる実例がいくらでもある。

われ〜の多くは鈍に属する。然し悲観したことはない根気は誠意に通ずる。私を棄て誠意をもつてこつこつと生涯努力を続ければ自分に与えられた能力を十分伸ばすことが出来て、社会に尽くす事になり、自分をいかす事が出来るのである。

（木下）

八月のいろいろ

商工會

天竜橋の上から観光路、灯すボンボリが清流へ写す灯影も美しく涼風を追う人達へ贈る盆踊りに水泳大会に燈籠流しに盛沢山の時又商工会夏の陣八月の催を御知らせいたします。

七夕祭り六、七日の二日新しい催し夜店を銀行前を中心に開き各商店のサービス販売をいたします。特価品が大分にあります。涼みがてらに掘出しものをしていただきたいと思います。

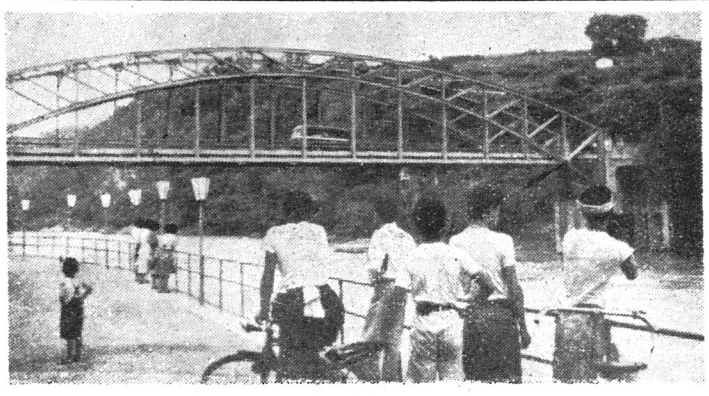
△、十一、二、三、四日の四日間は恒例の中元福引大売出しです。皆様がビックリする様な良い賞品を引き当てゝいたゞく様研究中、中元の贈り物にお盆の必要品を福当りを楽しみながら特別サービス価格で御利用いたゞく様今から御期待下さい。

△、盆踊り、十四、五六日の三夜長石寺境内の清長松をかこんで青年会、婦人会、公民館、芸能部を中心に踊ります。今年で二十五年、十六日は懸賞付変装踊り大会どんなのが飛び出すかお盆の夜三日、皆様是非御参加下さい。踊りの予習は七夕様ころからいたします。水泳大会十五日頃天竜橋の下を中心に青年会、公民館体育部、子供会を中心に青年、中小学生等他村からも多数参加して盛大に催します。

各商店からの山積する賞品の寄贈もあり西瓜流し、風船流し宝さがし競泳等一日を共々に楽しんでいたゞきます。

△、伊那の名物燈籠流し二十三日の夜、数万の人を集めて精霊を送る千余の燈籠読経に送られて清流に姿うつして間を縫つて流れる万燈の美、時又静る小、中金魚花火、打揚花火鉄道の方でも今年は特別にリーフレット等で宣伝して下さる由夏の舟下りと共に他県からの遊覧客も多数期待されて居る毎年々々余りの人出で見物も出来ず帰つた方々もあつたが観光路の完成によつて充分に見ていたゞける。今年こそと張切つて準備にかゝつて居ります。

△、写真同好者を中心に観光部と公民館芸能部共催で夏の鵞流峡の撮影競写会を予定して居ります村内だけでも随分と多数居られるので之をキツカケに同好会でも作つていたゞいて観光に産業に大いに協力していただきたいと思います。期日、方法等は御決定次第連絡いたします。



写真は新装成つた護岸道路

運・鈍・根

母の四十九日忌に近親が集つて雑談していた。そこえ僧侶さんが加わつて話は一層実がいつた。

人間の生活の在り方に就て話し合つているうちに、ある禅宗の坊さんの使つた「運鈍根」ということばが出て来た。大変面白いことばである。

「運」は運命である。運には人間のどうしようもない面もあるし、人間の努力によつて開拓する場面もある。「鈍」は鈍者である。俊才でない平凡な人間を指す。

「根」は根気である。あの人はこんのよい人だという意味は平凡な人間が根（こん）とかいう。ひとつの事に就いたらあくまでやり通す人である。

そうすると「運、鈍、根」という意味は平凡な人間が根（こん）よく努力をつゞけることによつて運命が展開して、生き甲斐のある生活が出来るということになる。

七月詠草

公民館歌会

初心者の方に。短歌に関心を持つ人は多くても、作歌する人は非常に少ない。「私は人の歌をみる事は好きだが仲々作れない」とよくきます。これは作れないのでなく、作らないのです。初めはうまくいかないが繰り返すことによつて道は拓けるものです。毎月第二土曜日の短歌会に御出席下さい。作れるようになります。

○別れ来し人おもひおり一条のつゆは車窓をつたわり落ちぬ　下平幸恵

○霧ふかき朝（あした）咲きたる白きばら触るるわが手に露を移しぬ　木下きの

○幾とせを働きつづけこの秋は父の十七年忌営みたしも　北沢新太郎

○母の死を告げ来し甥と默（もだ）しつつ暁の道を急（せ）きつつ登る　木下右治

○妻の言ふ浴衣（ゆかた）の柄もうつろにて藁枯れし麦を丘畑に刈る　中田美稔

○旅に出でし子を思いつつ起きて来れば障子に月は白く照りおり　橋爪丘の人

○梅雨晴れし植え田の水の滲み透り浮草の影光りゆらげり　岡村美文

○病ややも良き日は長く世に生きむ慾も出で来て服む薬なる　中田美穂

○蒴科植物の白きわた毛の種つづき黄昏（たそがれ）の窓に舞ひ入りにけり　久保田楓実子

○床の間に初めて活けしかきつばた眺むる毎に活け直しおり　久保田八寿代

○長雨にかぼちやの蔓の所在なくゆれて光れり梅雨あけの朝　久保田千重子

○あでやかにさんざめきつつ舟ゆきし川辺にひそと栗の花散る　岡島照代

○雨の降る七月の日は耐え難し姉逝きしより二年（ふたとせ）を経ぬ　塩沢義雄

この制度の正しい育成に努めましよう。

—御相談は…飯田支部
裁判所内　飯田検察審査会事務局へ—

（前面十段より続く）

F氏（婦人）

◇帰国の皆様のお元気の様子がうれしかつた。何かにつけ心配していたのに意外によい生活をしていられた事はよかつたと思う

◇東洋の平和、日本の平和の為に今後協力して頂くのであるが、日本のあらゆる情勢をみきわめて努力して頂きたい。

◇あれ程感激していられる方々に一日も早く職業を、住宅を与えてあげたい。

★☆★☆★☆★☆★ 栄養料理 ★☆★☆★☆★☆★

マヨネーズソースの作り方

材料、卵黄一ケ、砂糖、塩、コショー（カレー粉でもよい）酢、食油（約三勺）

作り方、卵を割り黄みだけどんぶりに取り砂糖、塩、コショーを適宜に入れかきまぜます。食油は一度煮立て、置き冷たくなつたものを少しづつ入れ酢も時々落して好みの味にと、のへます。

かき混ぜるのに泡立器のない時はおハシを四、五本一緒にしてかき立てるとよいものです。こまかい泡が立つてふわ〜になるまでかき立て、下さい。

サラダはその日の中に食べてしまわないと悪くなります。

マヨネーズソースは二〜三日は保存できます。

時間に予猶のある方は、馬鈴薯、人参など生のまゝ茹でた方が栄養の点から良いわけです。

塩イカ、トマト、リンゴ等入れ、ばさつぱりしてよろしいと思います。

夏とあぶらもの

夏は暑さのために食べ物はとかくあつさりしたものを食べるようになり、冷ムギ、ソーメン、ソバ等つけ汁だけで食べます。これはおやつの程度に食べるのでしたらよいのですが、主食にする場合は脂肪、蛋白質、ビタミン等が不足しますから、みそとごまをよくすり、汁とまぜたゴマ汁を作るとか少し上等にすれば脂肪の多い肉のこま切れを入れた汁を作るとかして、栄養をゆたかにして食べるようにしましよう。

昭和28年度きようそ被害調査 成績報告

本春蚕期皆様より御寄附願いました蠶蛆被害調査繭につき村青年会産業部並蠶蛆駆除督励委員が厳密なる検査を行なつた結果、左の如く被害歩合が出来たので全組合一覧にて御報告致します。

而左の数字は長野県蚕業取締所下伊那支所反び、下伊那蠶蛆駆除予防協会へ報告済になつております。

組合名	項目	繭出人員	胴切繭	単繭	健蛹	被害蛹	其の他	計	被害歩合
下平	第一北	5人	12顆	79顆	79	14	10	103	14.0%
〃	第一中	1		10	8	2		10	20
〃	第一南	1		19	17	2		19	11
〃	第二北	10	71	65	145	44	18	207	20
城	陸	4	25		40	4	6	50	10
駄	科橋	8	6	31	38	4	1	43	8
〃	南宮	7	59	20	121	15	2	138	11
寺	下第一本	12	93	53	185	41	13	239	17.5
〃	第二	7	50	13	86	23	4	113	18
〃	第一下	4	20	5	38	6	1	45	14
北	平城	9	59	3	87	27	7	121	24
〃	〃第三	6	51		86	12	4	102	83
〃	井原	16	112	32	195	48	121	256	17
荒	前	1		20	18	1	1	20	5
駅	原第一	15	130	40	250	32	18	300	10.7
長	〃第二	15	65	31	133	18	8	159	11.3
〃	又第一	5	43	7	87	2	4	93	0.2
時	〃観音	4	24	22	63	3	4	70	0.4
〃	〃央	4	25	21	47	17	7	71	28
〃	〃中竜	6	33	22	51	22	5	78	28
〃	〃天川	11	65	71	158	34	9	201	18.7
〃	〃新平	7	17	5	35	3	1	39	0.8
上	川路中	8	66	21	133	9	11	153	0.6
〃	〃町並	15	96	67	176	70	13	229	25
〃	宮の前	15	89	1	143	36		179	22.5
桐	林南平	16	88	23	172	18	9	199	12.9
〃	〃小池	17	138	33	259	39	1	299	15.1
〃	〃安城	5	20	47	80	4	3	87	.7
〃	〃久保田	16	77	3	136	20	1	157	17.5
〃	〃久保尻	8	48	22	75	26	7	108	20
〃	〃北上	14	75	10	105	39	6	150	35
〃	〃古瀬	2	20		33	6	1	40	15
駅	前								
計		274	1.677	814	3.279	644	188	4.078	15.7%

編輯後記

水害々々で本村も多額の損をした世の中とゆうものは思う様にならぬのが当り前で、天竜川の水防作業に忙殺されている時に各所では、がけがくずれ、田畑の浸水等で中々大事だった。

× ×

公民館報も日が進むにつれて皆様の御協力によつて、だん〜良くなつたわけだが、中々思う様に行かぬものだ。

× ×

今月号は、原稿はたくさん有るが予算の関係上二面ですので、投稿原稿中次号廻し又は残書が有りますが御了承下さい。